

日本展示学会

第 32 回研究大会開催プログラム

日本展示学会では、下記のとおり第 32 回研究大会を開催いたします。
今大会は、兵庫県立人と自然の博物館にて開催いたします。あわせて同館の見学も行うことができます。
また、展示に関わるより多くの方々の知的交流の場となるよう、ポスターセッションおよび公開フォーラム「移動博物館の新展開」を開催いたします。会場は、研究発表数に応じて複数設けますので、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。なお、当日は託児サービスも予定しておりますので、ご家族でのご参加もご検討頂ければと思います。研究大会翌日には、有馬富士自然学習センターの見学会も予定しております。こちらを併せてご参加ください。

< 開催概要 >

会 期： 2013 年 6 月 15 日（土）・16 日（日）
会 場： 15 日 兵庫県立人と自然の博物館（大会）
 16 日 三田市立有馬富士自然学習センター（見学会）
主 催： 日本展示学会

プログラム

◆ 受付開始	9：30 ～
◆ 研究発表・午前の部	10：00 ～ 12：00
◆ 昼食	12：00 ～ 13：00
◆ 研究発表：午後の部	13：00 ～ 14：00
◆ 全員総会および作品賞表彰	14：10 ～ 15：10
◆ 公開フォーラム「移動博物館の新展開 ～古くて新しい方法論～」	
話題提供：	15：20 ～ 17：00
討 論：	17：00 ～ 18：00
◆ 懇親会	18：20 ～ 20：00

※調整により多少の変更が生じる場合があります。

参加費用 大会当日受付にて徴収いたします。
大 会：1000 円（会員・非会員共）
懇親会：3500 円（学生の方は 2500 円）
弁当代（大会当日のみ・お茶付き）：1000 円（必要な方のみ）

各種会場

口頭発表 A 会場（大セミナー室）、B 会場（中セミナー室）、C 会場（実習室）
ポスター発表 ひとつはくサロン（4 F）
全員総会および作品賞表彰 A 会場（大セミナー室）
公開フォーラム ホロンピアホール

【研究大会事務局】 兵庫県立人と自然の博物館（三橋）

e-mail：hiromune@hitohaku.jp

三田市弥生が丘 6 丁目

B 会場：口頭発表 大セミナー室

10:00～10:20 p.24-25	1	アイキャッチ効果を期待したサイエンスアゴラ 2012 への出典 ～人体にときめけ！ドキドキハートランド～ 古川典子・中村信彦・坂本由美・梅田由布香・坪井裕子・金子倫敦 仁科幸子・皆木純子・鐵原恵子・森谷卓也・植木宏明（川崎医科大学）
10:20～10:40 p.26-27	2	3DCG を活用した恐竜の色と姿を考える体験型展示 ～MRによる恐竜3Dぬりえとジェスチャーによる恐竜の姿勢の操作～ 有田寛之（国立科学博物館）・近藤智嗣（放送大学） 水木玲（トランスファー・オービット）
10:40～11:00 p.28-29	3	鯨類における演示展示について -みさき公園イルカショーの事例から考察する可能性について - 吉田将義（和歌山大学大学院 / みさき公園）
11:00～11:20 p.30-31	4	ミドルヤード施設の成果と今後の課題 - 戸隠地質化石博物館での5年間の活動から 田辺智隆（戸隠地質化石博物館）・洪恒夫（東京大学総合研究博物館）
11:20～11:40 p.32-33	5	川の資料館・博物館における展示の現状と課題 吉富友恭（東京学芸大学）・大村岳（トータルメディア開発研究所）
11:40～12:00 p.34-35	6	親子で博物館を楽しむための展示ガイドコンテンツの制作 に関する研究 中村謙太（九州大学大学院）・金大雄（九州大学）
13:00～13:20 p.36-37	7	博物館・美術館におけるインタラクティブディスプレイ角度が ユーザーの認知・行動・感情に与える影響 市野順子（電気通信大学） 磯田和夫・花井綾子・上田哲也（大日本印刷株式会社）
13:20～13:40 p.38-39	8	移動体験展示による被災地支援活動の取り組み 「滋賀キッズ・ミュージアム with いわき」（福島県・いわき市）を例に 木下達文（京都橘大学）
13:40～14:00 p.40-41	9	大阪万博日本館の展示映像『日本と日本人』の行方 ～展示映像のアーカイブに向けた調査～ 脇山真治（九州大学大学院芸術工学研究院）

A 会場：口頭発表 中セミナー室

10:00～10:20 p.6-7	1	資料を媒介とした博物館と地域の関係について 杉林真樹子（京都橘大学大学院 / 滋賀県平和祈念館）
10:20～10:40 p.8-9	2	お茶会での茶碗鑑賞表現に表れた茶碗の顕在的属性 吉村浩一（法政大学）・関口洋美（大分県立芸術文化短期大学）
10:40～11:00 p.10-11	3	モノの展示から空間の展示へ 橋口静思（明治大学大学院）
11:00～11:20 p.12-13	4	現象としての展示学 - 地方博物館における市民参画型展示のあり方をめぐって 五月女賢次（吹田市立博物館）
11:20～11:40 p.14-15	5	展示批評の指標 - 展示の力の種類 亀山裕市（株式会社乃村工藝社）
11:40～12:00 p.16-17	6	「博物館展示論」をどう展開するのか ～学芸員資格科目「博物館展示論」～ 草刈清人（丹青社 / 千葉大学 非常勤講師）
13:00～13:20 p.18-19	7	ミュージアムの展示物を見る行為における満足感の尺度調査 - 名古屋大学博物館での実験を中心として - 伏見清香・趙領逸（広島国際学院大学） Christa SOMMERER・Laurent MIGNONNEAU (University of Art and Industrial) 岡本靖生（株式会社丹青社）・足立守（名古屋大学博物館）
13:20～13:40 p.20-21	8	利用者が活用しやすい展示を目指して 北村美香（滋賀県平和記念館）
13:40～14:00 p.22-23	9	新しい復興価値としての空間提案 木下仁瑞佳・稲垣博・土屋真・笠松慶子（首都大学東京大学院）

事務局等について

- 事務局：大セミナー室前
 - 休憩室・お茶室：実験セミナー室（大セミナー室のとなり）
 - 事務局控え室：会議室2（4F図書室を向かって右側の扉をあけて直ぐの部屋）
- *すべて博物館の4F周辺にて対応いたします。

大会プログラム

C会場：口頭発表
実習室

10:00～10:20 p.42-43	1	地域をつなぐ「鯨箱」 ～教科書に対応した貸出用学習素材の開発～ 中江環（太地町立くじらの博物館）
10:20～10:40 p.44-45	2	美術と手話 西岡克浩（株式会社丹青社）
10:40～11:00 p.46-47	3	河川構造物「魚道」を題材とした映像展示の開発 渡辺友美（土木研究所自然共生センター） 吉富友恭（東京学芸大学）・萱場祐一（土木研究所自然共生センター）
11:00～11:20 p.48-49	4	Kinectを用いた体験型展示装置「ことばあめ」の制作 巡回展示用に適した装置を目指して 佐野彰（九州産業大学）・吉富友恭（東京学芸大学） 渡辺友美（自然共生研究センター）・澤登紀乃（Fun the Muse）
11:20～11:40 p.50-51	5	「新たなミュージアムの使命、つながる活動拠点」 ～「北摂里山博物館」構想策定を振り返る～ 長谷川辰也・鈴木榮一・神戸智啓（トータルメディア開発研究所）

●ポスター発表および関連出展

10時～12時 ひとつはくサロン（4F休憩コーナー周辺）

12時～15時 C会場（実習室）

*都合による会場が移動することがあります。

川井龍一（日本電気株式会社）

NECの通訳クラウドサービス

吉富友恭（東京学芸大学）他10名

水の巡回展ネットワーク（jawanet）

平田慎一郎（きしだわ自然資料館）・凶師宣忠（きしわだ自然友の会）

教育・普及から考える移動博物館 - チリモン・ワークショップの実践例 -

中江環（太地町立くじらの博物館）

地域をつなぐ「鯨箱」—教科書に対応した貸出用学習素材の開発

公開フォーラム「移動展示の新展開」の関連展示および作品賞紹介

人と自然の博物館の移動展示車「ゆめはく号」、国立民族学博物館移動博物館キット「みんなぱつく」や「回遊展：クジラとサンゴの物語」キット（NPO法人ミュージアム研究会）、ベア・トランク（日本クマネットワーク）、東大総合研究博物館の取り組みなどが登場します。また、展示学会作品賞を受賞された作品（希望者のみ）についても展紹介いたします。